

令和4年から「地域おこし協力隊」として市のために尽力した2人が、令和6年3月31日で任期を終えることから、これまでの活動や思い出を語っていただきました。



かないも日和

市ふるさとPR課
かのやPR レポーター

とりごえ かな
鳥越 佳那 さん

鹿児島市出身。テレビ局アナウンサーの経験を経て、令和4年12月1日に市ふるさとPR課の「かのやPR レポーター」に着任。



YouTube
「かないも日和」



Saki Motomura

市地域活力推進課
菅原地域づくりマネージャー

もとむら さき
元村 早希 さん

大阪府生まれ東京都育ち。雑誌で見つけたオンラインのローカルキャリア相談会がきっかけで、令和4年1月1日に市地域活力推進課の「菅原地域づくりマネージャー」に着任。



さつまいもを通して 鹿屋の魅力を発信

かのやPRレポーターとして、主に市の特産品であるさつまいもを使ったふるさと納税返礼品のPRや、各種イベントでの司会を行ってきました。実際に生産者の方を取材し、製造過程や商品にかける思いをSNSやYouTubeで発信。情報発信だけでなく、取材先での出会いを大事にしました。

こうしたご縁から、鹿屋農業高校と南風ガーデンがコラボし、同校産のかのや紅はるかを使ったスイーツ「NOUKOU シュークリ芋」開発を企画することができました。当初は商品開発にまでつながるとは思いもよりませんでした。形として残るものを皆さんと一緒に作れたことに感謝しています。

今後は「さつまいもアナウンサー」として起業し、鹿屋のご縁をつなぐ事業を展開していきます。協力隊で築いたネットワークを生かし、鹿屋のさつまいもを全国に発信するつなぎ役として、少しでも皆さんに恩返しができるよう頑張ります。

菅原地域の活性化を目指して

私は「菅原地域づくり協議会」の運営に携わり、交流促進や野菜作り、空き家再生、観光PRに関わる事業を企画・実施してきました。活動を通して少しずつ応援してくれる仲間が増え、地域の方と一緒に様々な事業を実施することができました。

昨年実施した「海の体験講座」では、海の環境問題をテーマとして地域の方に講師をしてもらい、講座を通して菅原地域への思いや子どもたちへのメッセージを届けてもらいました。最初は地域の皆さんが協力してくれず不安もありましたが、無事に講座を終えた後に講師の方に「今後も地域のために続けていきたい」と感じてもらえたことは大きな変化だと思っています。

こうした取り組みがこれからも発展していき、菅原地域の活性化につながればと思っています。4月からは鹿屋を離れ県外で就職する予定ですが、今後も家族や友人と鹿屋を訪れ、一人でも多くの人に鹿屋の魅力を伝えていきます。



かのやお芋マップ

本市を訪れた人がお芋巡りをできるよう、これまでの取材情報をまとめた「かのやお芋マップ」を作成。リナシティかのやに設置されています。



イベント司会

アナウンサーの経験を生かし、「かのや100チャレ」などのイベントで司会を行いました。



NOUKOUシュークリ芋

2月17日に、ライブ配信イベント「高校生×パティシエコラボトーク！今回限りの芋祭り！」で開発したスイーツを発表しました。3月12日には鹿屋農業高校の売店で限定販売が行われたほか、芋モンブラン農園工房（浜田町）でも販売を行っています。



協力隊で商品開発

普段はミッションが異なる協力隊5人で連携し、カヌレや焼酎油を使ったフレグランスオイルを制作。マルシェ等で出店しました。

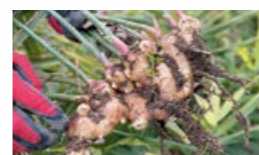


海の体験講座

公益財団法人九電みらい財団の助成を受け、海の環境問題を考える全7回の体験講座を開催。内容は海岸清掃や稚魚の放流、鹿屋市漁業協同組合見学、カヤック体験など盛りだくさん。来年度はさらに発展させた内容で実施する計画となっています。

しょうが 耕作放棄地を活用した生姜作り

耕作放棄地を再生した畑で栽培した生姜が、菅原神社にかけた「スガハラ海のジンジャーエール」としてユクサおおすみ海の学校（天神町）から発売。2月には、若潮酒造(株)から生姜で香り付けしたお酒「笑う一日」が発売されました。



地域の保健室(高齢者向け健康サロン)

市や池田病院と連携して、健康に関する出前講座やポッチャ体験会を開催。高齢者向けの健康サロンとして、地域の方同士の交流の場づくりを行いました。